

平成23年度
(平成22年度分)

事務事業評価票

C 定型・維持管理型

No.

1035008

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名	産業廃棄物等処理適正化対策（代執行）	所管局部課等	環境政策局事業系廃棄物対策室
		(連絡先)	075-366-1394
ホームページ	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-8-0-0-0.html	(評価票作成者)	事業ごみ減量推進課長 志渡澤 祥宏
22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性	24予算額 (千円)
-	10,000	現状のまま継続	10,000
業務運営方法	委託(補助)先の名称, 委託(補助)の内容 産業廃棄物の収集運搬及び処分の委託		
	<input type="checkbox"/> 直営		
	<input type="checkbox"/> 部分委託		
	<input type="checkbox"/> 部分補助等		
	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託		
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例		事務事業の 性格
			<input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的事業 会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
			①	事業費 (千円)			
	①'	委託料 処理委託				10,000	10,000
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)				100.0%	100.0%
	③	人件費 (24年度は見込) (千円)	314	305	298	298	298
		職員(課長級) (人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
		職員(課長補佐級、係長級) (人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
		職員(係員) (人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
		嘱託職員等人件費 (千円)					
	④	年間経費 (①+③) (千円)	314	305	298	10,298	10,298
	⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)				10,000	10,000
		国庫・府支出金 (千円)					
		受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)					
		その他 (環境総務費負担金) (千円)				10,000	10,000
	⑥	京都市年間負担経費 (④-⑤) (千円)	314	305	298	298	298
	⑦	受益者負担率 (受益者負担分÷④) (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

平成23年度
(平成22年度分)

II 評価結果

事業名 産業廃棄物等処理適正化対策（代執行）

II-2 業績評価（II-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 効率性	No.	区 分	単位	H20年度	H21年度	H22年度	
	①	代執行件数		件	0	0	0
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）		千円	314	305	298
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	④	単位当たり経費変動率			#DIV/0!	#DIV/0!	
				評価	#DIV/0!	#DIV/0!	
分 析	(コスト変動の理由等)						
	代執行を行っていないため分析不可能である。						
B 市民満足度	<調査の有無>		<調査方法>		<調査時期>		
	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない						
(調査結果、現状分析等)							
C 環境保全 及び環境負荷軽減の要素	<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 関連 <input type="checkbox"/> 一般		<現状分析、今後の方針等>				
	不適正事例の指導を強化し、適正処理を推進して代執行を行わなければならないような状況の根絶を目指す。						

平成23年度の実施状況

実施なし

III 今後の方向性

(今後の方向性の理由及び具体的な内容)	
現状のまま継続	今後とも、代執行を要するような状況を招かないよう、関係機関との連携を密にして、不適正処理の未然防止と拡大防止を図るとともに、不適正処理が行われた場合には、厳正かつ迅速に対応する。